2019 (平成31)年度東京外国語大学アジア･アフリカ言語文化研究所

言語研修生募集要項

ILCAA Intensive Language Courses 2019

言語研修について

この研修はアジア･アフリカ言語文化研究所が研究者養成事業の一つとして開催しているもので，アジア･アフリカ地域での現地調査･研究や専門的業務に役立つ現地語の習得を目的としています．日本の専門研究者と母語話者が講師を務めます．

大学在学生，大学卒業者または上記の目的に必要な学力及び動機をお持ちの方であれば，ご応募いただけます．

募集言語について

ゾンカ語，ジンポー語

各言語の研修期間，研修時間など，研修内容についての詳細は，それぞれのページをご覧ください．

募集定員について

各言語 約10名 （当研究所で書類審査により選考します．）

募集期間について

第一次募集期間：2019年5月7日（火）～ 2019年5月24日（金）
　受付時間　午前9時30分～午後5時 （正午～午後1時を除く）
　持込みの場合，土･日･祝日を除きます．
　郵送の場合は，5月24日（金）必着です．
　Eメールの場合は，5月24日（金）日本時間午後5時必着です．

定員に満たない場合は，二次募集を行います．定員に達すれば，二次募集はありません．
第二次募集期間：2019年6月3日（月）～ 2019年6月25日（火）
　受付時間　午前9時30分～午後5時 （正午～午後1時を除く）
　持込みの場合，土･日･祝日を除きます．
　郵送の場合は，6月25日（火）必着です．
　Eメールの場合は，6月25日（火）日本時間午後5時必着です．

[主催／企画] 東京外国語大学アジア･アフリカ言語文化研究所 http://www.aa.tufs.ac.jp/

応募方法について

所定の受講申込書に必要事項をご記入の上，在学証明書又は最終学校の卒業証明書（写）を添えて，お申し込み下さい．
※申し込み方法は，直接持ち込み，郵送，Eメールのいずれかとします．
※申込書に記入いただくEメールアドレスは，選考結果通知PDFをお送りしますので，ilcaa-ilc@tufs.ac.jp からPDFファイルが受信できるアドレスをご記載ください．
※郵送の場合は，封筒の表に「言語研修〇〇語申し込み」と朱書き願います．

受講申込書送付先および各種問い合わせ先について

東京外国語大学アジア･アフリカ言語文化研究所2階206室
研究協力課共同研究拠点係
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
TEL 042-330-5603，FAX 042-330-5610
Email ilcaa-ilc@tufs.ac.jp

選考結果について

受講の可否は，一次募集応募分については，6月末までに本人あてにEメールにて通知します．
二次募集を行った場合は，7月下旬に本人あてにEメールにて通知します．

受講手続きについて

受講を許可された方は，所定の期日までに，研修言語ごとに定められた額の受講料を一括納付して下さい．
受講料等は各言語ごとに異なりますので，それぞれのページをご覧ください．
受講料振込先情報および振込期日は，選考結果通知に記載してあります．
口座振込に係る手数料はご負担ください．

修了要件と修了証書について

研修言語ごとに定められている授業時間数の3分の2以上出席し，かつ所定の成績を収めた受講者に修了証書を交付します．

文化講演について

研修期間中，文化講演として，担当講師以外の外部講師を招いた授業を取り入れています．文化講演は一般向けに公開することがあります．

受講までの流れについて

受講申込

↓ 郵送，Eメール，直接お持込にてお申込みください．

確認メール送信

↓ 郵送またはEメールにてお申込みいただいた方には，受付確認メールをお送りいたします．

選考結果通知をメール送信

↓ 選考を通過された方には，受講料等振込先および，初日の集合時間等についても，あわせてご案内いたします．

受講料振込

↓ 通知書に記載された期日までに，受講料等をお振込みください．
振込手数料は自己負担となります．

受講料振込確認メール送信

↓ 期日までにお振込が確認できない方には，事務局から確認メールをお送りします．

研修に関する連絡をメールにてお知らせ

↓ 各言語ごとにメーリングリストを作成し，必要に応じて，研修に関するご連絡を差し上げます．

研修開始

受講上の注意について

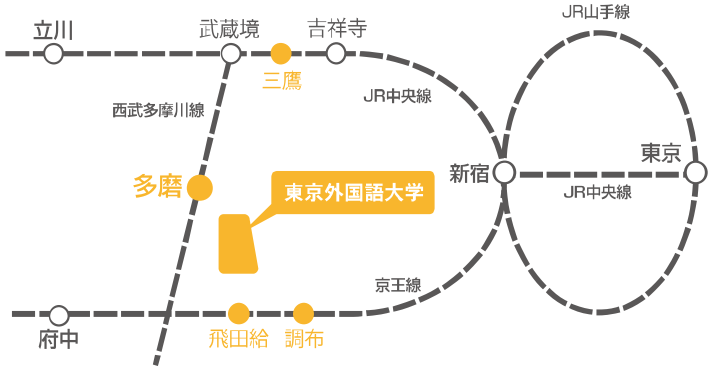
■会場には駐車場はありません．受講時は公共交通機関をご利用ください．
■本研修の受講生は正規の学生ではありませんので，学割定期券の購入はできません．
■宿泊施設については，ご自身でご手配くださいますようお願いいたします．

研修会場について

東京会場［ゾンカ語，ジンポー語］

東京外国語大学アジア･アフリカ言語文化研究所
〒183-8534東京都府中市朝日町3-11-1
TEL 042-330-5603， FAX 042-330-5610

AA研へのアクセス



■JR中央線「武蔵境駅」から西武多摩川線に乗り「多磨駅」で下車（所要5分）。駅から徒歩5分。 ※西武多摩川線は12分間隔。

■JR中央線「三鷹駅」から小田急バス鷹52系統に乗り「東京外国語大学前」で下車（所要30分）。停留所から徒歩2分。
※小田急バス時刻表：
http://www.odakyubus.co.jp/cgi-bin/search/mapsearch.cgi

■京王線「飛田給駅」から京王バス飛02系統･調33系統（いずれも多磨駅行き）に乗り「東京外国語大学前」で下車（所要7分）。停留所から徒歩2分。

■京王線「調布駅」から京王バス調33系統（多磨駅行き）に乗り「東京外国語大学前」で下車（所要20分）。停留所から徒歩2分。
※京王バス時刻表：http://www.bus-navi.com/

※ アジア･アフリカ言語文化研究所は6番の建物です

ジンポー語

❯ 初学者向け　❯ 東京会場　❯ 日本語での授業

ジンポー語(またはカチン語)は，ミャンマー北部カチン州，中国雲南省，インド北東部アッサム州などで話される言語です．同言語は，ミャンマーの8つの主要民族の1つであるカチン人の主要言語であり，また，中国の55の少数民族の1つであるジンポー（景頗）族の主要言語でもあります．話者人口はミャンマーで63万，中国で4万，インドで5千程度と推測されます．ジンポー語は，シナ・チベット語族チベット・ビルマ語派に属し，中国語，ビルマ語，チベット語，カレン語，羌語，西夏語などを含む，250以上の言語と共通の祖先を有しています．

ジンポー語は，ほかのチベット・ビルマ系言語や東南アジア大陸部諸語と共通する特徴を多く持ちます．ジンポー語を学習することで，周辺の言語に関する見通しも得ることができます．また，カチン文化には，東南アジア大陸部の山地民に共通する文化も見られます．カチン文化には，納豆，モチ食，麹酒，歌垣，「こぶとり爺さん」や「花咲か爺さん」に近い民話のモチーフなど，我が国の文化と共通する側面も見られます．さらに，ジンポー語はシナ・チベット語族の古い特徴を多く持ちます．この言語の学習は，中国語，ビルマ語，チベット語などの歴史研究にも有効です．このように，ジンポー語の学習は，ミャンマーや東南アジア大陸部の言語・文化・歴史に興味を持たれる方々にとって有益であると考えられます．

研修の対象者について

広くミャンマーや東南アジアの言語・文化・歴史に関心のある一般の初学者を歓迎します．

研修内容について

ジンポー語の音声，文法，語彙を集中的に学習することで，ジンポー語の基礎的な運用能力を習得することを目的としています．研修修了時点で，辞書などを補助的に用いることにより，ジンポー語がある程度理解できるようになるレベルを目指します．主として，日本人講師は発音，文法，講読，練習問題を担当し，ネイティブ講師は発音，会話の練習を担当します．

テキストについて

「ジンポー語入門」,「ジンポー語用例辞典」，「ジンポー語読本」を用意する予定です．

研修期間および研修時間について

2019年8月19日（月）～ 2019年9月6日（金）　75時間
午前10時00分～午後4時30分 （土曜日，日曜日は休講）

文化講演について

実施予定．詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします．
http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2019

受講料について

45,000円（教材費込み）

講師プロフィール

倉部　慶太 （くらべ　けいた）
現職：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所　助教
2016年，京都大学にて博士号（文学）取得．
2018年4月，東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に着任．
2009年より，チベット・ビルマ系少数言語の調査をミャンマー北部におけるフィールドワークにより行っている．

Lu Aung（ルオン）
現職： 拓殖大学国際学部国際学科学生
2009年，ミャンマー連邦共和国カチン州ミッチーナー大学卒業．
2014年より来日．
2016年より拓殖大学国際学部国際学科に在籍．
日本語，日本文化，日本経済，ミャンマー経済に興味を持っている．

ゾンカ語

》初学者向け　》東京会場　》日本語での授業

　ブータンでは20近く（数え方によってはそれ以上）の独立した言語が話されています．これらの言語は，ネパール語（ホツァムカ）がインド＝アーリア語派である以外は全てチベット＝ビルマ語派に属します．

　ゾンカ語は，17世紀以来ブータン西部で話されてきたンガロン（「西の人」の意）方言を母体として形成され，ブータン王国の公用語であり標準語として政府が使用を奨励している言語です．元来は，ブータン王国の西部の言語であり，現在ではブータン王国に20ある県のうち，ティンプー県，プナカ県，パロ県，ワンデュ・ポダン県，ガサ県，ハ県，ダガナ県，チュカ県の8県で話されている言語です．現在では同国のリンガ・フランカ（共通の母語を持たない人同士の意思疎通に使われている言語）として用いられています．

　ゾンカ語の言語系統は，シナ・チベット語族のチベット・ビルマ語派，チベット・ヒマラヤ語群に属する言語で，チベット語の南部方言に分類されると考えられています．最も系統関係が近い言語は，かつて存在したシッキム王国の国語であるシッキム語（デンジョンゲ）であると考えられています．

　本研修では，ゾンカ語の文字と発音・基本文法・基本的会話を学びつつ，文化的背景にも適宜触れる形で講義を進めていく予定です．ブータン王国の政治・経済・社会・文化についての総合的理解を促進するような内容になるよう努力いたします．

研修の対象者について

初心者，チベット系諸語の未修者を想定しています．

研修内容について

研修を通じて，以下のようなレベルを目指します．

- 具体的な必要性を満たすために，日常よく使われる表現と基本的な語句を理解し，使うことができる．
- 自分自身や他の人を紹介することができ，個人に関する詳細なこと（例：住んでいる場所，知り合い，持ち物など）について質問や応答ができる．相手がゆっくりはっきりと話し，いつでも手助けをしてくれるならば，簡単なやり取りができる．
- 最も直接的な分野（例：個人または家族に関する基本情報，買い物，地元の地理，仕事）に関わる文や頻繁に使われる表現を理解できる．
- 身近で日常的な事柄についての簡単で直接的な情報交換を必要とするような，単純で決まりきったタスクにおいて意思疎通ができる．
- 自分の経歴，身近な環境，直接必要のある分野の事柄について，簡単な表現で記述できる．

テキストについて

担当講師作成のテキストを使用します．

研修期間および研修時間について

2019年8月19日（月）～2019年9月6日（金）　75時間
午前10時00分 ～ 午後4時30分（土日は休講）

文化講演について

実施予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします.
http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2019

受講料について

45,000円（教材費込み）

講師プロフィール

西田　文信 （にしだ　ふみのぶ）
東北大学・高度教養教育・学生支援機構・准教授
秋田大学国際交流センター准教授，岩手大学人文社会科学部准教授などを経て2017年4月より現職. スイス・ベルン大学言語学研究所の客員研究員も務める. 主にシナ＝チベット語族の諸言語について研究.

Namgay Thinley（ナムゲ　ティンレー）
ブータン王国　ゾンカ語開発委員会　Chief programme officer
Sherubtse College（B.A. in Economics）卒業後，La Trobe大学大学院にて学ぶ(M.A. in Linguistics取得）. 主にゾンカ語のIT化，辞典編纂，言語政策等について調査研究を行っている.